

千葉産科婦人科学会 平成23年度冬期学術講演会 の
お知らせと演題募集のご案内

拝啓

紅葉の候、会員の先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

例年1月末または2月初に開催しております千葉産科婦人科学会冬期学術講演会を今年度は東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科が担当させていただくことになりました。今回は、一般演題の他に、特別講演として韓国の Prof. Kim Suk Young (Dept. of Obstetrics and Gynecology, Gachoen University Gil Hospital) に "Management of preterm labor in Korea" と題して講演をお願いいたしております。使用する tocolytic agent の日本との違いなどもご紹介いただきます。多くの先生方のご参加を賜りたく、ご予定に組み込んでおいていただきますようお願い申し上げます。

また、別紙の要領で発表演題を募集いたします。ふるって応募いただきますよう、こちらも宜しくお願い申し上げます。

記

日時：平成24年1月28日（土） 午後1時半～

（演題数により変更の可能性があります）

場所：千葉県医師会 大会議室 （ホテルニューツカモト2階）

千葉市中央区千葉港7-1 TEL 043-242-4271

JR 京葉線 千葉みなと駅より徒歩4分

なお、学術講演会終了後にホテル ポートプラザちばにて懇親会を予定いたしております。

（懇親会費 5,000円）

敬具

平成23年11月1日

千葉産科婦人科学会 平成23年度冬期学術講演会
当番世話人

東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科
坂井 昌人 正岡 直樹

千葉産科婦人科学会 平成 23 年度冬期学術講演会 演題募集要項

- ・ 別紙の例文に従い、タイトル、所属、演者、抄録本文（600 字以内）を Word にて作成してください。

Word 2003, 2007, 2010 のどちらでも結構です。

フォントは MS 明朝体、12 サイズでお願いします。

「。」「、」ではなく、「.」「,」を使用してください。

- ・ メールにて添付ファイルの形式で nakajima@tymc.twmu.ac.jp までお送りください。

メールタイトルは【平成 23 年度冬期学術講演会抄録】とし、本文中に発表内容のカテゴリーを明記してください。

<カテゴリー>

- 1) 周産期
- 2) 不妊・内分泌
- 3) 腫瘍
- 4) 女性医療
- 5) 婦人科一般・その他

メールを確認次第、こちらからご連絡いたします。

(3 日以内に返事がないときには TEL (047-458-6000 ext. 7060) にてご連絡ください)

- ・ **締め切り：平成 23 年 11 月 30 日 (水) 必着です!!**

- ・ 不明な点などにつきましては、メールあるいは TEL・FAX にてお問い合わせください。

千葉産科婦人科学会 平成 23 年度冬期学術講演会 事務局

担当 中島 義之 (nakajima@tymc.twmu.ac.jp)

東京女子医科大学八千代医療センター 母体胎児科・婦人科

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96

TEL 047-450-6000 (代)

FAX 047-458-7047

<抄録の例文>

カテゴリー 3

エトポシド、シスプラチン併用化学療法が著効した臨床的絨毛癌の一例

〇〇病院 産婦人科¹⁾ 検査科²⁾

△△△△△△¹⁾, ■■■■■■■■¹⁾, ◎◎◎◎◎◎◎¹⁾, ◆◆◆◆◆◆◆²⁾

絨毛癌は以前より、化学療法による治療が重要視されていた。しかし従来より使用されている3剤以上の多剤併用療法は、副作用も強く患者に対する負担が大きかった。

今回我々は、胎状奇胎を先行妊娠とし、hCGの推移が非順調型であったため、侵入奇胎と診断されMTXによる化学療法が試行されたがhCGの上昇並びに多発性の肺転移巣の存在から臨床的絨毛癌と診断した患者に対し、エトポシドとシスプラチンの2剤併用療法（EP療法）を試行したところ、完全寛解が得られた症例を経験したので報告する。

EP療法を6コース投与したところhCGの値はすみやかに改善し、肺の転移巣はX線CT上縮小ならびに消失を認めた。またhCGが感度以下になったにも関わらず消失しない腫瘍に対しては、胸腔鏡により腫瘍部の生検を試行し、病理組織的に残存腫瘍組織が消失したことを確認しえた。また治療中はグレード3以上の重篤な副作用は認めなかった。

以上の経過より、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(600字以内)

